

# 愛媛県武道館だより

平成16年5月  
第1号(創刊号)

発行 愛媛県武道館  
〒790-0948 松山市市坪西町551番地  
TEL089-965-3111

## 創刊に寄せて

名誉館長 山下泰裕

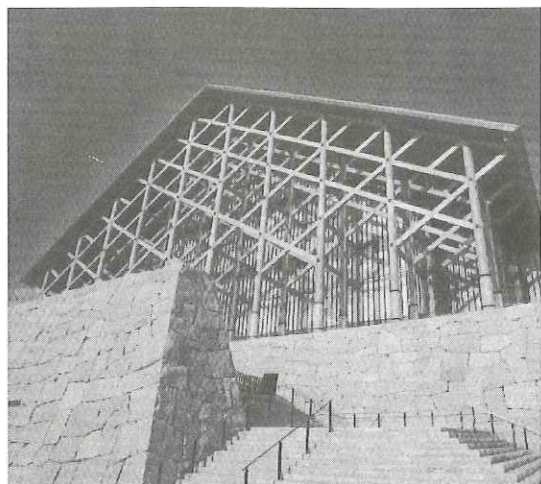


愛媛に素晴らしい武道館が完成し、平成15年10月1日にオープンしました。

私は、武道やスポーツを通じて明るく活力ある社会づくりを進める愛媛県の取り組みに賛同して、名誉館長をお引き受けしました。

今回は、愛媛県武道館だよりの記念すべき創刊号ということで、日頃私が考えていること(スポーツの奨励、精神面の大切さ)について、お話しさせていただきます。

まず最初に、「スポーツの奨励」についてですが、変動する社会の中では、生きていくためのたくま



い精神と健全な肉体が求められますから、スポーツというよりも生きるための基本的な体力を培う運動が当然必要だと思えます。こうした時代に運動嫌いの子どもたちが増えているのは皮肉なことだと思います。そういう子どもたちは、抵抗なく参加できる遊びにより近い運動からはじめると良いと思います。最近では、兄弟が少なく、遊び場も少ないため、子どもたちが自分の部屋にこもりがちで、対人関係も希薄になっています。かつては、特にスポーツをやらなくても、近所の子どもたちが集まり、遊び回る場があつて、それが適度な運動になっていました。その中で子どもたちは人との関わり方を覚えていったものです。これは、人間が社会的に生活していく上で非常に大切なことです。スポーツはただ単に汗を流すだけでなく、仲間との関わり合いの中で、助け合い、思いやり、時には我慢が必要なことなど、人間として生きる基本的な術(すべ)を学ぶことができます。今は子どもたちが遊びの中でそういうことを経験する機会が少ないからこそ、スポーツをもっと奨励していかねばならないと思っています。

次に、「精神面の大切さ」についてですが、柔道やスポーツに限らず、精神面が重要でないものはないでしょう。精神的なたくましさ、強さ、集中力、そして燃え上がる情熱。なにをするにも、こういうものが成功するためには必要なのではないでしょうか。

偶然の幸運を伴った、単発的な成功であれば自己を高めずとも手に入るかもしれません。しかし、本当の意味での成功のためには、志を高く持ち、高い理想、目的に向かって「頑張る心」がなければなりません。

人生には成功も失敗もあります。瞬間で見れば、成功したかのように見えたことが、実は失敗であったり、またその逆もあります。物事には必ず二つの面がありますから、成功に結びつけるのか、失敗に結びつけるのかは、その人の受け止め方次第です。人生を成功に結びつけるためには、あくまでも謙虚に、自分はまだまだ未熟なんだという気持ちを忘れずに、現状に満足することなく、昨日より今日、今日より明日、と少しずつでも人間的に成長していく気持ちを持ち続けることが大切だと思います。

最後に、次代を担う青少年が、スポーツを通じて心やさしく、たくましく育つことを願うとともに、全国に愛媛の元気を伝える架け橋となれますよう、微力ながら尽くしたいと思っておりますので、今後ともよろしく願います。

### 山下名誉館長のプロフィール

昭和32年 熊本県生まれ

東海大学大学院修了

柔道8段

東海大学体育学部教授 (1996.4~)

全日本柔道連盟理事 (1996.4~)

国際柔道連盟教育コーチング理事 (2003.9~)

全日本柔道選手権大会9連覇 (1977~1985)

ロサンゼルスオリンピック無差別級優勝 (1984)

国民栄誉賞受賞 (1984)

# 財)愛媛県柔道協会の近況

財)愛媛県柔道協会

理事長 棟田利幸

財団法人愛媛県柔道協会は平成15年度、会長五島昌明以下会員約4,000名が全日本柔道連盟に登録しております。そして昨年は日本一の愛媛県武道館が完成し、その開館記念としまして会員全員が一丸となって愛媛国際親善女子柔道大会が開催でき、また3,500名を超える観衆のもとドイツ・フランス・イタリア・キューバ・中国・韓国の外国勢強豪6か国と全日本チームを迎えて愛媛県選抜が健闘するなど大盛会の内に終了できましたことに県内外柔道関係者をはじめ、TV放映を見られた県民各位から賛辞をいただきましたことを大変喜んでおります。

この誌面をお借りしまして大会関係各位をはじめ、ボランティアで御協力いただきました方々に厚く御礼申し上げます。

この勢いで平成16年度の各種行事に取り組んでいきたいと思っております。

本年度、愛媛県武道館で行われる四国大会以上の大会は6月27日に行われるマルちゃん杯中四国少年柔道大会、平成17年3月6日の四国4県対抗柔道大会兼四国個人体重別(男女)選手権大会があります。

今後とも会員一同力を合わせて日本一の愛媛県武道館での柔道大会開催を盛り上げていきたいと思っております。

## 【今後の主な日程】

愛媛県高校総体

(6月5、6日愛媛県武道館)

ジュニア愛媛県予選

(6月13日愛媛県武道館)

愛媛県柔道大会

(7月4日愛媛県武道館)

愛媛県高校者大会

(7月17日愛媛県武道館)

愛媛県中学総体

(7月26、27日愛媛県武道館)

ダイコロカップ杯愛媛県少年大会

(9月23日愛媛県武道館)

2004スポレク中学生大会

(11月7日愛媛県武道館)

愛媛県高校選抜大会

(1月22、23日愛媛県武道館)

愛媛県選手権大会

(2月11日愛媛県武道館)

愛媛県体重別選手権大会

(2月20日愛媛県武道館)

全国少年大会愛媛県予選

(3月20日愛媛県武道館)

## 愛媛剣道史の歩み

愛媛県剣道連盟

企画広報部長 馬越洋治

第二次世界大戦の敗戦により、我が国は壊滅的な打撃を受け、人々はその日の生活の糧を得るのに精一杯であった時代に、剣道は一時的、消滅します。

しかし、復興の兆しとともに、この荒廃した日本の復活に日本民族伝統の剣道の精神を植え付けることだ、との思いが各地で活発となり、要所への折衝、運動、組織化となる。

・・と、現剣道連盟名誉会長 鐸近俊一先生は記念誌に記してあります。

そして、同様に、戦後まもなく愛媛剣道も愛媛県剣道連盟の発足とともにスタートをして、態勢は整いました。まさに、愛媛の剣道の歴史は、愛媛県剣道連盟の足跡であると言つても過言ではありません。

その間、愛媛剣道史は多くの名選手を輩出し、特に、昭和63年の第7回世界選手権大会(於 ソウル)において、大城戸選手の個人優勝は、記憶に新しい栄光であります。

愛媛県剣道連盟では、現在、三浦公義会長の号令の下、世界に誇る愛媛県武道館においての第50回全日本東西対抗剣道大会9月26日(日)の準備に追われて

いるところであり、会場は、全国からの剣道愛好家で埋め尽くされることを確信しております。

また、国際

交流にも活発で、韓国仁川広域市との剣道交流事業を毎年推進しており、15年度は、3月27日

30日まで、総勢41名で訪韓をして、交流をさらに深めてきました。



以上、愛媛剣道は、日々躍進をしており、息をつく暇もないのが現状であります。

## 愛媛県空手道連盟の現状

愛媛県空手道連盟

常任理事 伊藤忠徳

私たちの空手道連盟は、県下に9会(流)派・46道場で組織されています。

いわゆる「組手」を寸止めルールで技を競い合う、スポーツ空手道を追求する部分と、先人から脈々と受け継がれてきた「形」で競い合うことで、武道性を追求する部分を併せ持つ、アマチュアスポーツの団体です。

空手道は、幼児から大人、そして高齢者まで、自分の体力に応じた幅広い年齢層の方に鍛錬が可能であるため、生涯スポーツとして最適と思われれます。また、指導者には、教員・公務員が比較的多く、本県においても中学校体育連盟及び高等学校体育連盟の空手道部門が、当該連盟の傘下団体として組織されています。

この様な組織的な話は、空手道に日頃から接していない一般の方々には、案外知られていないようですので、今回はあえて説明させていただきますこととします。従って、当てる空手(フルコンタクト)とは、まったく別の空手で、別組織となっております。また、我々の空手道は、当然ながら全国高校総体(インターハイ)競技、全学連競技、並びに国民体育大会競技となっております。

長期的な話になりますが、平成29年に開催が予定されている「愛媛国体」に向けて愛媛県武道館を核として、青少年の強化指導練習が開始されるところであります。

愛媛県武道館の開館・国体強化練習の開始が、正に絶妙のタイミングにより、スタートできましたことに対し、愛媛県武道館建設に御尽力いただいた関係各位の諸先生方に、この場をお借りいたしまして、深く感謝いたします次第であります。

最後に、空手道に興味のある方は、以下に本年度の主な空手行事をお知らせしますので、一度御観戦いただきますよう御案内いたします。〔空手道連盟の現状〕報告を終わります。

**愛媛県空手道連盟関連の主な行事計画**

(大会行事)

- 6月5・6日 愛媛県高校総体空手道競技 愛媛県武道館
- 6月27日 国体選手選考会・中空連県予選 今治市体育館
- 7月11日 新人戦東予地区予選会 伊予三島市体育館
- 7月18日 新人戦中・南予地区予選会 愛媛県武道館
- 9月5日 四国地区空手道競技大会 愛媛県武道館
- 9月19日 愛媛県空手道選手権大会 愛媛県武道館
- 11月21日 全国高校選抜県予選会 愛媛県武道館

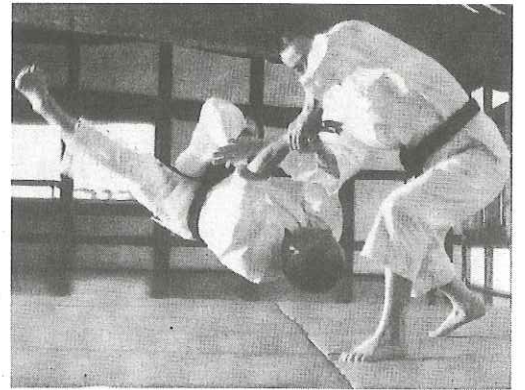
**少林寺拳法**

愛媛県少林寺拳法連盟

副理事長 **渡部 頼忠**

『少林寺拳法とは』

1947年(昭和22年)、開祖・宗道臣が、



かつて中国で学んだ技法をもとに、自らの理論による独自の拳法をのみだし、それを「少林寺拳法」と名づけ、「自己確立」と「自己共楽」を基本理念に、世の中に役立つ青少年育成を目的に創始されました。

「人、人、人、すべては人の質にある」と喝破した開祖・宗道臣は、「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せ」を基本理念として、人づくりによる国づくりを説いて以来、その理念は現在、第2世・宗道臣(宗由貴・少林寺拳法連携グループ総裁)に引き継がれ、更なる活動を推進しており、国内2、960支部に、国外では30か国に広がりを見せています。

『人づくりのための「行」である』

少林寺拳法は試合で勝ち負けを競うことが目的ではなく、自己を見つめ、相手と共に上達を図るといった修煉過程を通じて、自己を確立し、自己共楽の精神を養い、技術を身につけることで、イヤなことはイヤと言え、自信と勇気を手に入れ、なおかつ、人と人が協力し合うことの楽しさと大切さを学ぶことを

目的としています。

『護身の技術である』

少林寺拳法は、剛法、柔法、整法(圧法・整骨等)の三法二十五系より成り立っています。突き、蹴り主体の剛法も、抜き、逆、固めなどが主体の柔法も、その技法は守りと反撃からなる護身の技術です。特殊な才能に恵まれた者や、特別に選ばれた者だけが上達するということではありません。よって体格の大きさや力の強さに頼らずとも相手を制することができるよう、すべての技が自然の理に合うよう合理的に組み立てられ、誰でも順序をおって修練すれば必ず上達できるものです。

**なぎなた**

愛媛県なぎなた連盟

常任理事 **佐伯 真紀**

「なぎなた」と聞いて、どんな競技なのか頭に浮かぶ人は少ないのではないかと思います。なぎなたの全長は(2m10cm・2m25cm)と竹刀より長く、離れた相手の攻撃に大変有利です。特徴としては、なぎなたの技は左右対称に行われ、振りあげ、もちかえ、ふりかえし、くり出し、くり込みなどの変化に富んでいます。また、試合には、防具をつけて、定められた相手の部位を打破して勝負を競う『試合競技』と、演技者2名1組となり、正しいなぎなたの基本の優劣を競う『演技競技』があります。

愛媛県なぎなた連盟は、昭和29年に発足し、今年で50周年を迎えます。その間、国体や全国大会などで、幾度となく優秀な成績を収めており、近年においては、昨年5月に行われ

た都道府県対抗なぎなた大会で試合競技の部で見事2連覇、また、皇后盃全日本選手権大会では、池見敬子選手が5度目の優勝を果たすなど、県内の「スポーツ賞」も数多くいただいております。

絶え間ない精進を続け第一線で活躍する選手以外にも、様々な社会体育の場でなぎなたを学ぶ人達がいいます。愛媛県武道館でも幼児から年配の方まで、各々の体力、レベルに合った稽古をしています。初めは遊び半分で参加していた子どもたちも序々に向上心が芽生え、今年1月に行われた少年武道大会では、小学生男子、試合競技で優勝!という感動を与えてくれました。

今後は技術面だけではなく「なぎなたの修煉により心身ともに調和のとれた人材を育成する」というなぎなたの理念に基づき努力精進し、一人でも多くの人になぎなたのすばらしさを知っていただきたいと思っております。

**第32回中国四国地区銃剣道選手権大会を主催して**

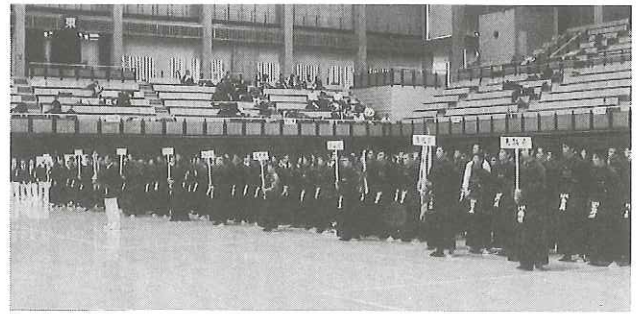
愛媛県銃剣道連盟

事務局長 **竹下 利一**

去る3月7日、愛媛県武道館の柿落としを兼ねて、中国四国地区9か県から約400名の役員選手が参加し、盛大に大会を挙行させていただきました。大会運営に当たり県教育委員会並びに県体育協会、県スポーツ振興事業団等関係機関からの心の籠った御支援を賜り、つつがなく大会が運営できましたことに対し、また御支援をいただきました関係者の皆様

衷心より厚く御礼申し上げます。

参加した他県の役員選手からは、「この様な立派な武道館で競技でき、よい思い出となりませ」との評を得ております。他県に誇れる様な立派な愛媛県武道館の設立に御尽力をいただきました。



した関係者各位に感謝の気持ちでいっぱいあります。我々、武道関係者にとって愛媛県武道館は、何物にも変えがたい授かりものであると心を熱くいたしております。

我が銃剣道連盟は、とるに足らない小さな連盟ではありますが、銃剣道修行の指標であります。「正しく」「明るく」「強く」「たくましい」人間形成を目指し、精進いたす所存でありますので今後とも宜しく御指導御支援を賜りますようお願い申し上げますと共に各関係機関の益々の発展を祈念申し上げます。

# 合気道

愛媛県合気道連盟

松森 國彦

合気道は、開祖植芝盛平が日本伝統の武術

の奥義を究め、さらに厳しい精神的修行を経て、試合形式を取らない「和の武道」として発展させた現代武道です。合気道は、その起点である日本を中心にしながらも、国際的に各国の人たちの心をつかみ、世界中では80か国で150万人の人たちが稽古しており、合気道の心と技が受け入れられ、日本の武道というよりも世界の武道として、世界中の人たちに広く知られるようになりました。

合気道は、相手といたずらに力で争いませぬ。「入り身」と「円転する体捌き」から生まれる技と「呼吸力」から生み出される集中力により、稽古を重ねると誰にでも、自分よりも大きくて力の強い相手を制することができますようになります。

合気道は、競技を行いません。その代わりに、お互いの習熟度にあわせて技を繰り返して稽古し、心身の錬成を図ることを目的としておりますので、子どもからかなりの年配の方まで、男女の区別なく、それぞれの体力に応じて、楽しみながら一緒に稽古ができます。

稽古で、先生から最初に習うことが、じつは一番大切なことです。合気道の稽古に終わりはありません。稽古を始めたら根気よく続けることです。つまり、最初に習ったことが次のステップ、さらに次のステップへと、途切れることなく受け継がれているわけですから、基本をおろそかにすれば、技術の向上は望みません。

初心者とはとくに、謙虚に、素直な気持ちで先生の教えを吸収してください。そして、長く続けている方も、つねに向上心を忘れずに稽古に励んでいただきたいと思えます。

## 愛媛県武道館（主道場）で実施が予定されている大規模大会等（6月～8月分）

平成16年5月20日現在

競技	大会名	開催予定時期	備考(主催者等)	整理番号
柔道	第58回愛媛県高等学校総合体育大会	6月4日(金)～6日(日)	愛媛県高等学校体育連盟	1
バレーボール等	松山市中学校総合体育大会	6月9日(水)～11日(金)	松山市中学校体育連盟	2
剣道	第36回愛媛県少年剣道大会	6月13日(日)	愛媛県剣道連盟	3
少林寺	少林寺拳法四国大会	6月20日(日)	愛媛県少林寺拳法連盟	4
柔道	全日本選抜少年中四国柔道大会	6月27日(日)	(財)愛媛県柔道協会	5
柔道	愛媛県柔道大会	7月4日(日)	(財)愛媛県柔道協会	6
バレーボール	第34回四国家庭婦人バレーボール大会	7月11日(日)	愛媛県家庭婦人バレーボール連盟	7
空手	第35回中予予新人大会(空手)	7月18日(日)	愛媛県空手道連盟	8
剣道	第56回愛媛県中学校総合体育大会(剣道)	7月21日(水)	愛媛県中学校体育連盟	9
卓球	第54回全日本実業団卓球選手権大会	7月22日(木)～25日(日)	愛媛県卓球協会	10
柔道	第56回愛媛県中学校総合体育大会(柔道)	7月26日(月)～27日(火)	愛媛県中学校体育連盟	11
なぎなた	全国学生なぎなた選手権大会	7月31日(土)～8月1日(日)	愛媛県なぎなた連盟	12
ソフトテニス	第31回全日本レディースソフトテニス個人戦大会	8月3日(火)～5日(木)	愛媛県ソフトテニス連盟	13
空手	日本空手松涛会全国選手権大会	8月7日(土)～8日(日)	愛媛県空手道連盟	14
剣道	第55回愛媛県剣道大会	8月22日(日)	愛媛県剣道連盟	15
柔道・剣道	愛媛県警察柔道・剣道大会	8月26日(木)～27日(木)	愛媛県警察本部	16
ミニバスケット	第26回四国ミニバスケットボール大会	8月28日(土)～29日(日)	愛媛県ミニバスケット連盟	17

## 愛媛県武道館 H16年度前期 スポーツ・レクリエーション教室

曜日	教室名	内容	時間	場所	期間
週2回教室	火・木 太極拳	無理や無駄のない運動で心と体の健康を図るクラス	13:00～15:00	副道場	5/11(火)～7/22(木)
火・金	バドミントン	初めてラケットを握る人から、もう少し上達したい人のクラス	19:00～21:00	主道場	5/7(金)～7/30(金)
週1回教室	火 エアロビック	有酸素運動と筋力調整運動を組み合わせ、バランスのとれたボディを目指すクラス	10:00～12:00	副道場	4/20(火)～9/28(火)
水	リラックス体操	ストレッチなどの軽い運動で、日頃の疲れをとりのぞき、心身のリフレッシュを図るクラス	10:00～12:00	剣道場	4/21(水)～9/22(水)
金	卓球・ラージボール卓球	初めてラケットを握る人から、もう少し上達したい人のクラス	13:30～15:30	主道場	4/30(金)～10/29(金)

後期教室 11月頃開講予定!! ※受付開始日・開講教室など未定

館長 秋川 秀美  
 副館長 青野 泰彦  
 青野 昌久  
 武市 一孝  
 伊藤 孝志  
 岩井 恵佳  
 小谷 恵佳

事業課長 佐賀山 誠一  
 川口 裕一  
 海野 誠一  
 藤岡 泰治  
 池見 敬子  
 越智 陽子  
 黒田 陽子  
 近平 省悟